



第2回アジア・モンスーン作業部会

2022年3月23日

Table of Contents



01

事業概要

02

事業事例

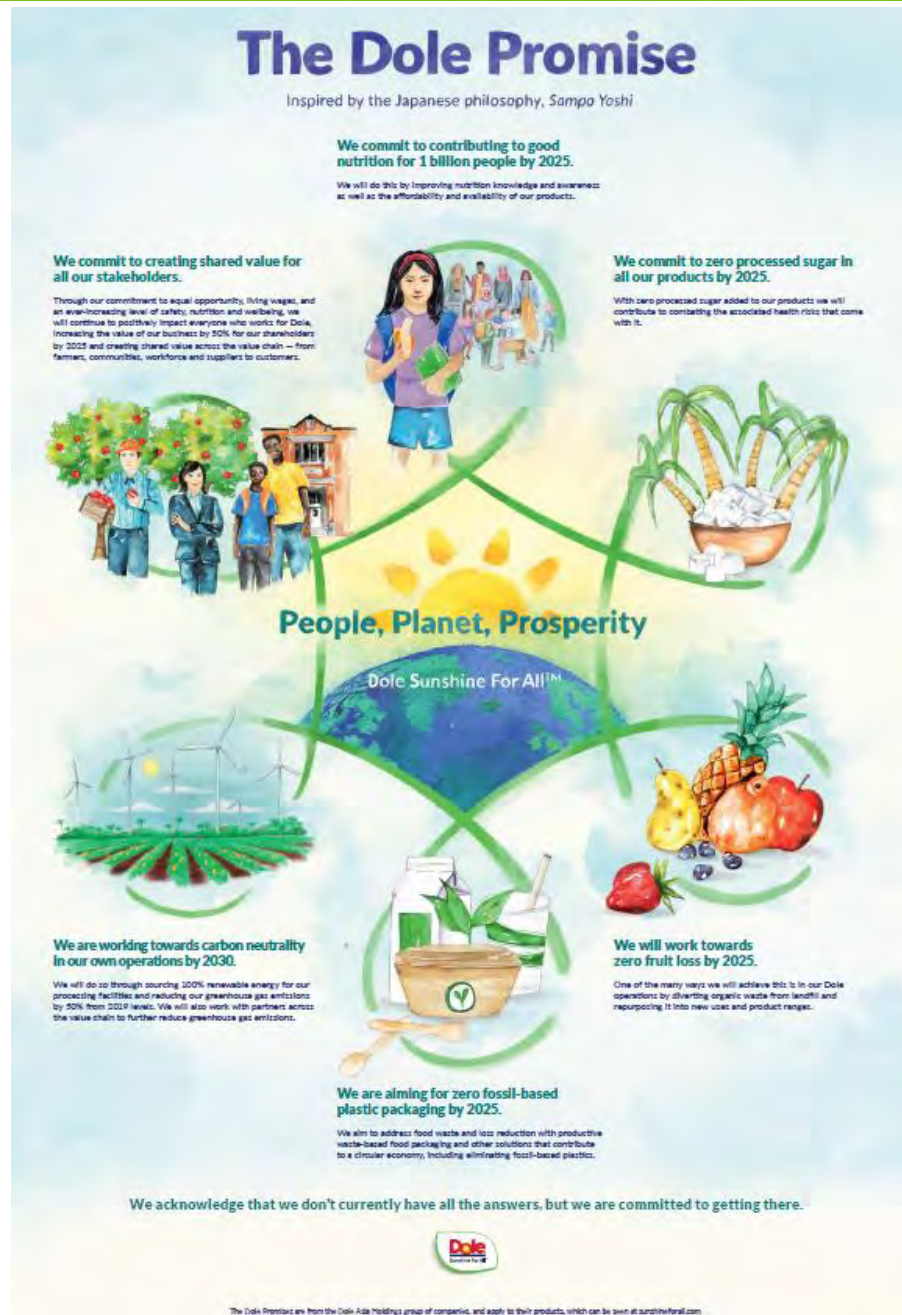
03

課題例と提案

事業内容

事業内容	青果 : バナナ・パイナップル等の果実、野菜の販売（アジア） 加工食品 : 果実関連加工食品の販売（世界）
社名	Dole International Holdings, Inc.（日本法人：伊藤忠商事100%子会社）
販売地域・国	アジア、北米、ヨーロッパなど全世界70カ所以上で展開
従業員	約26,000名（正社員約23,000名、臨時従業員約3,000名）
農場	フィリピン（約36,000ha）、タイ（約10,500ha）、スリランカ等 ※契約農家含む
加工工場	フィリピン：2ヶ所、タイ：1ヶ所、北米：2ヶ所 その他協力工場（OEM先）有り
流通・加工拠点	・パッキング施設 : 約400ヶ所、冷蔵保管設備 : 約80ヶ所 ・専用港湾設備（バース、コンテナヤード）、専用契約船舶 ・アジア各国に追熟／加工及び物流拠点50ヶ所以上を保有
特徴	・世界的に認知度の高いブランド及びトレードマーク ・「美と健康」への貢献





“三方よし”の経営理念

【Dole Promise】明るい世界のために、ドールが守る約束。

1. 10億人の人々に良質な栄養を届けることに貢献します。
2. フルーツ廃棄物ゼロを目指します。
3. 化石資源由来のプラスチック包装の廃止を目指します。
4. 事業活動による温室効果ガスの排出実質ゼロを目指します。
5. すべてのステークホルダーにとっての共有価値
6. 精製糖の使用ゼロを目指します。

➤ Dole Philippinesにおけるパイナップル残渣を活用したバイオガス発電



Dole加工品のパン缶などの製造過程で生じるパイナップル残渣をバイオガスの原料としてDole Philippines Inc.（以下、Dolefil）から現地のパートナー企業に供給。生産されたバイオガスを燃料にして発電した電力をDolefilが買い取ることで本取組を通じて、再生可能エネルギーの活用を通じた環境負荷の低減に貢献します。

12 つくる責任
つかう責任



➤ Dole Japanにおける「もったいないバナナ」プロジェクト



収穫後、規格に沿わないバナナ、輸送過程で熟しすぎたり劣化してしまったバナナは選別過程で廃棄されてしまいます。

このプロジェクトでは、日本に輸入、出荷される過程で様々な理由から仕方なく捨てられ、商品化できなかった“もったいないバナナ”を救出すべく、21年9月に始動しました。

ドールは売り手、買い手、世間の三方に利益をもたらす方法で事業を行うという理念です。その取り組みの一つで、「フルーツ廃棄物ゼロ」を目指しており、共感頂いた協力店舗の方々とフードロス削減を目指しています。

12 つくる責任
つかう責任



課題例と提案

- 農業（育苗～生産管理）→製造（パッキング、加工）→輸送（流通）→販売とバリューチェーン全体にわたり事業を展開。
- それぞれの段階での施策概要は以下の通り。

項目	大項目	施策概要
1	農業	農作物品種開発 (バナナ、パイン)、食品ロス
2	農業	再生農業、スマートアグリ、サステナ農機
3	加工製造	節水、再エネ化、廃棄物利活用
4	包材	非化石原料をベースとする 包材・資材開発
5	流通	鮮度保持・低温輸送技術、脱プラ
6	マーケット	規制緩和策





Thank you